

令和6年度 第4回 経営協議会議事要録

日 時 令和6年10月25日（金）16時00分～17時30分

開催方法 Web会議（Zoom）

出席者 【委員】中野学長

青木委員、朝霧委員、荒木委員、木下委員、内藤委員、
平子委員、福原委員、大月委員、加藤委員、蜂谷委員、
下間委員、竹下委員、祝迫委員

【陪席者】野口理事、林理事、大槻理事、長谷部監事、原監事、
稲葉副学長、屋敷副学長、西野副学長

議事に先立ち、中野学長から再任の挨拶があった。加えて、中野学長から、新たに経営協議会に出席される加藤理事、野口理事、大槻理事、長谷部監事、原監事、屋敷副学長、西野副学長の紹介があり、挨拶があった。

I 前回議事要録の確認

1. 令和6年度第3回経営協議会議事要録について

中野学長から、令和6年度第3回経営協議会議事要録案について、資料1に基づき説明があり、確認の後、確定した。

II 審議事項

1. 国立大学法人ガバナンス・コードに係る適合状況の確認について

大月理事・副学長から国立大学法人ガバナンス・コードに係る適合状況の確認について、資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 一橋講堂利用料金体系の見直しについて

下間理事・副学長から一橋講堂利用料金体系の見直しについて、資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。なお、以下のような意見交換が行われた。

○平子委員から、一橋講堂の黒字化を考えるのであれば、料金を可變的にすることにより稼働率を上げることができるのではないかという意見があった。

これに対して、下間理事・副学長から、利用率を引き上げるための単価設定について検討していく、との説明を行った。

○内藤委員から、一橋講堂をプロフィットセンターと捉え、収入のみならずコストも含めた分析が必要である、との意見があった。

これに対して、下間理事・副学長から、従前の経緯から既存の利用者が継続的に利用しやすい形にすることが必要であるが、適正な収益であるかという観点も考慮して検討を進める、との説明を行った。

Ⅲ 報告事項

1. 執行部体制について（令和6年9月1日付）

中野学長から、令和6年9月1日付の執行部体制について、資料4に基づき報告があった。

2. ネーミングライツ・パートナーの選定について

大月理事・副学長から、ネーミングライツ・パートナーの選定について、資料5に基づき報告があった。

3. 資金運用報告（令和6年度上半期）

下間理事・副学長から、資金運用報告（令和6年度上半期）について、資料6に基づき報告があった。加えて、中野学長からこれまでの経緯と今後の検討課題について補足説明があった。

4. 本学の財政見通しと土地利活用について

下間理事・副学長から、本学の財政見通しと土地利活用について、資料7に基づき報告があった。

5. 令和7年度概算要求について

下間理事・副学長から、令和7年度概算要求について、資料8に基づき報告があった。

6. 環境報告書2024の作成・公表について

下間理事・副学長から、環境報告書2024の作成・公表について、資料9に基づき報告があった。

Ⅳ その他

1. 指定国立大学法人構想の展開について

中野学長から、指定国立大学法人構想の展開について、資料10に基づき報告があった。

2. 国等の政策の動向について

中野学長から、国等の政策の動向について、資料11に基づき報告があった。

[配布資料]

- 1 令和6年度 第3回 経営協議会議事要録（案）
- 2 国立大学法人ガバナンス・コードに係る適合状況の確認について
- 3 一橋講堂利用料料金体系の見直しについて
- 4 執行部体制（令和6年9月1日付）について
- 5 ネーミングライツ・パートナーの選定について
- 6 資金運用報告（令和6年度上半期）
- 7 本学の財政見通しと土地利活用について
- 8 令和7年度概算要求について
- 9 環境報告書2024の作成・公表について
- 10 指定国立大学法人構想の展開について
- 11 国等の政策の動向について